

仁川合流点の清掃と仁川口橋でのオオキンケイギクの駆除

2018年5月27日（日）9時30分～12時



暑さ対策で集合場所を松林の木陰に急遽変更。給水に注意しつつ予定通り2つの作業を実施。この会場付近でセアカゴケグモを発見された宝塚市自然保護協会の村上さんに、作業開始前にレクチャーをお願いしました。

ご家族連れ、中学生（宝塚中・甲武中）、校長先生、高校生、企業の方、兵庫県や西宮市の行政関係者、シニア自然大学から多数の方々をはじめ、総勢80名以上の皆さまに参加いただきました。はじめに仁川と武庫川の合流点で、増水による大量のペットボトル、レジ袋、プラゴミ、空き缶など漂着ゴミを回収。燃えるゴミ72kg、不燃ゴミ95kg（計測可能な粗大ごみを含む）。



仁川と武庫川合流点親水域、プラごみ、ポリ袋類も多数。仕分け計測中。

後半は、仁川口橋の仁川両岸で特定外来植物オオキンケイギクを駆除。今回は開花時期で

あり、前回3月のような、オオキンケイギクの株であると見分ける苦労はありません。根から抜き取り密封して計測しました。結果は153kg。



仁川口橋付近にてオオキンケイギクの駆除



種々のご支援をいただいた兵庫県、西宮市、宝塚市、企業、団体のご協力に感謝します。

ヤマサ環境さんは今回も多数参加され、ボランティアでパッカー車（オオキンケイギクの密封回収ほか）も提供していただきました。粗大ごみは西宮市役所に処理をお願いしました。兵庫県には行事保険でもご協力を得ています。（記録：事務局 白神）

■ コープこうべ環境基金・ひょうご環境創造協会 による助成事業 ■

■ 環境学習都市にしのみや・パートナーシッププログラム 後援：兵庫県 阪神南県民センター/西宮市/宝塚市 ■

■ 協力：兵庫県 西宮土木事務所/環境都市宝塚推進市民会議/（株）ヤマサ環境エンジニアリング ■